

平成 30 年第 1 回教育課程編成委員会議事録

- 日 時 2018 年 3 月 5 日 (月) 10:20 - 10:40
- 場 所 日産横浜自動車大学校 第 1 会議室
- 参加者 学校外委員
 - 出席者 日産自動車(株) 北村主担
 - 欠席者 愛媛大学 中原教授、愛媛日産自動車(株) 田村様、
日産プリンス愛媛販売(株) 樋口様
- 学校内委員
 - 出席者 日産愛媛自動車大学校 岡校長(高橋委員の代理)
学校法人 日産学園 鳥井部長代理
- 委員以外の出席
 - 日産・自動車大学校 今西学長
 - 日産自動車(株) 濱小路様
 - 日産愛媛自動車大学校 岡校長
 - 同校、分部次期校長
 - 日産横浜自動車大学校 古畑教頭
 - 学校法人 日産学園 合田、荻原、墨

<概要>

下記議題について説明及び提案等を行った後、ご意見を頂きながら質疑を行った。
議題・提案事項及び質疑は、以下の通りである。(詳細は、別途会議資料参照)

<議題・提案事項>

1. FY18 EV 講座内容について日産校からの提案_ (自動車整備科、一級自動車工学科議案)
2. 技術能力要件評価項目の見直しについて提案_ (自動車整備科、一級自動車工学科議案)
3. NBC 関連業務運用取決め事項の確認及び FY17 授業対照表提出_
(自動車整備科、一級自動車工学科議案)
4. 日産資格試験結果学外公表にについて提案_ (自動車整備科、一級自動車工学科議案)

<まとめ及び結果>

1. FY18 EV 講座内容について日産校からの提案

- ・日産自動車は、e-Power を主力とする方向の為、出来る限り新しい知識だけでも教育する。
- ・従って、新テキストの内容を可能な限り教示し、実習は従来の実技で行う。
- ・実習車を入手次第、NBC が実施する EV 教育に移行する。
- ・日産校の教育内容をまとめ、FAR(NBC)に報告する。

2. 技術能力要件評価項目の見直しについて提案

- ・サービス教育担当者会議への出席は、許可する。会議招集などの情報は提供する。
- ・技術能力要件が改定した際、日産校と連携会議を持ち、日産校としての評価方法を確定する。
- ・評価方法が確定すれば、日産校内でカリキュラム編成 WT によりカリキュラムを構築する。
- ・構築したカリキュラムを基に NBC との連携会議を再度開催し、評価方法、新旧カリキュラムの実施など、年次スパンで確定させる。

3. NBC 関連業務運用の取り決め事項の確認及び FY17 授業対照表提出

- ・学科カリキュラムを 1 年次は 3 級、2 年次は 2 級と分けて行うようになり、FY17 でカリキュラム変更が完了した為、授業対照表は変更している。
- ・NBC 関連業務運用の取決め事項は、FY17 では変更が無い為、FY18 版として承認を頂くこととする。

4. 日産資格結果学外公表について提案

- ・学生の合格状況を公開することは、承認。
- ・但し、全国販社の公開については、販社を含め様々な調整が必要になる為、今回は見送る。

1. FY18 EV 講座内容について日産校からの提案

- 日産学園 鳥井：FY17 に技術教育の変更を引き続き、FY18 では基礎教育も変更になる。
- ・日産校として実習車が無い環境で、講座内容を会議資料のように提案したい。
- 日産自動車 北村：今後自動車の電動化が加速する。従来はリーフだったが、e-Power を使用する必要がある。FY18 の EV 講座について販売会社に提案している時期であり、同意を得ている。
- ・販売会社から日産校の EV 講座は、改訂はされているのか？との質問があった。
 - ・実習内容については、新型を取り入れて頂く必要がある。
- 日産校学長 今西：ノート e-Power を NML から導入する計画だったが、不履行になった。今後も NML の協力の元、導入を行うように考えている。
- ・提案内容を暫定措置としてお願いしたい。
- 日産学園 鳥井：ノート e-Power のマイナーチェンジ後の車両を NML から入手することを継続して検討している。もう一年だけ、従来の方で行わせて頂きたい。
- 日産学園 合田：教員は、昨年度から順次 NBC 講座を受講しており、準備している。
- 日産自動車 北村：新しいテキスト内容を可能な限り入れて頂くことで猶予することとする。
- ・ブロック会議での話もある為、学校としても早期に対応して頂きたい。
 - ・日産自動車としては、今後 e-Power を主力にすることが考えられる。
- 日産校学長 今西：学科は FY18 から新テキストの内容で実施する方向で如何でしょうか？
- 日産自動車 北村：学科内容を変更すると実習内容も変更が必要となる。
- 日産学園 鳥井：どのような講座内容で実施するかは、まとめて提出致します。
- 愛媛校校長 岡：販売会社から「どんどん教育させて欲しい」と、要望はある。

- ・TA や TS のように日産資格として確立できないか？ゆくゆくは日産校の売りとなるよう、EV 教育の価値を上げて頂くようお願いする。

2. 技術能力要件評価項目の見直しについて提案

- 日産学園 鳥井：FY18 上期終盤に技術能力要件を改定する予定につき、会議資料のように提案したい。
- 横浜校 岩田：年度の途中で変更が入った場合、教材等の都合で直ぐに対応できない項目があるかも知れない。
- 日産学園 合田：実際に具体的な変更案が出なければ、相談できないこともあると思うが、現状、実習車両の都合で出来ないことを相談させて頂いている評価項目もある。
- 日産学園 鳥井：変更案は決定でしょうか？
- 日産自動車濱小路：9月までに決定かどうかは、流動的である。改訂の狙いが、現場に必要な知識、技術など、出来ることを増やして行く方向で考えている。
- ・実際に現場で出来る内容に変更していく為、レベル的には落ちると予想出来る。
 - ・現場で行っている内容に沿った評価項目にして行く事を考えている。
 - ・サービス教育担当者会議の参加については問題ない。会議日程を展開させて頂く。
 - ・実際に車両が無い場合は、エーミング動画を見ることに置き換える等、今後調整しましょう。
- 日産自動車 北村：TS は、新技術（先進安全技術）に対応しなければならない為、数多く授業で実施して欲しい。
- 日産学園 合田：現在は学生の判定を「できる、できない」で行っているが、⇒「受けている、受けていない」で判定することを了承頂くことで検討頂ければ 対応可能な項目もある。

3. NBC 関連業務運用の取り決め事項の確認及び FY17 授業対照表提出

- 日産学園 鳥井：学科カリキュラムを1年次は3級、2年次は2級と分けて行うようになり、FY17でカリキュラム変更が完結した為、授業対照表は変更している。

4. その他

- 日産学園 鳥井：日産資格試験結果（学生、全国販社）を各学校 HP で情報公開を行うことを提案。
- 日産校学長 今西：日産校のカテゴリーは専門学校の為、情報公開に対して文科省からは厳しい指導は入っていない。その結果、専門学校は自画自賛となっている。
- ・大学は、校内について全部公開している。
 - ・従って、高校の先生方からは、「専門学校は信用できない」と言われ始めている。
 - ・専門学校協会も含め必要な情報は今後公開して行く方向であり、今まで悪いことは公開して来なかった経緯はあるが、今後公開していく方向で動き始めている。
 - ・日産資格は日産自動車の取り扱いの為、許可を頂きたい。販社を公開する理由としては、全国平均と比較する為である。
- 日産自動車 北村：販社の結果を公開することについては、判断出来かねる。
- ・日産校学生の資格取得については、公開することは良いと思う。
 - ・全国販売会社の情報については、販社にも了解を得ていない。
- 日産校学長 今西：まずは、卒業までにどの程度取得できているのか、学生の合格状況を公開する。
- ・販社の結果については、今後、販売会社の了承が得られれば、公開することとする。

- 横浜校校長 石井：合格率でなく、卒業生数何名に対しての合格者数を公開したい。
- 日産学園 合田：学校によっては全員受験ではない。
- 日産校学長 今西：学校を卒業する学生の中、100%を目指しているかではない。何名が合格（取得）できているかを公開する。
- 愛媛校校長 岡：日産を目指している学生の取得意識は高いが、受験しない学生が居る。
・日産販社も給与に反映させる等の工夫も必要ではないか？
- 日産校学長 今西：合格することで給料が上がるなら、日産を意識する学生も増えるのではないか？
- 日産学園 鳥井：今回の議題以外に何かあるか？
- 日産学園 合田：次年度から TA テキストが大幅に改訂されると伺っているため、再来年度からの試験対策を考えている。情報を頂けるのであれば、どのような概念で問題を作成するのかをお伺いしたい。
- 日産自動車 北村：ブロック会議で論議している内容は共有させて頂く。
・大きな概念でと言うなら、今まで行ってきたことが間違っている訳では無いので、時代に合わせた内容を盛り込むことを前提としている。

以上